

議会だより



白山市

第11号

2008
平成20年2月



「手取川の雪景色」●写真提供：古谷 因さん（森島町）

【目次】

平成19年第2回臨時会・12月定例会概要…	2	常任委員会レポート……………	12
決算審査特別委員会報告……………	4	特別委員会行政視察報告……………	14
一般質問……………	5	子どもの声・編集後記……………	16

11月臨時会概要

平成19年第2回市議会臨時会
11月22日(木)

12月定例会概要

平成19年第4回市議会定例会
12月4日(火)～19日(水)

臨時会においては、市長から白山市スキー場施設条例の一部を改正する条例案1件、河内千丈温泉金沢セイモアスキー場及び白山一里野温泉スキー場施設の指定管理者の指定に関する事件処分案1件が提案され、可決しました。

12月定例会においては、市長から提案のあった補正予算案9件、条例案7件、事件処分案5件、そして第3回定例会から継続審査となっていた平成18年度各会計決算の認定13件の合計34件をすべて可決、認定したほか、請願1件は不採択としました。人事案では、人権擁護委員候補者5名の推薦を答申しました。また、議員提出の議会議案5件を可決しました。

歳入歳出の徹底した見直しを図り 魅力あるまちづくりの実現に努力

一般会計7億1460万円、特別会計・事業会計60億8380万円の補正を承認

■補正予算案.....9件

12月補正後の一般会計予算489億6687万円、6特別会計・2事業会計449億2173万円となり、全会計予算総額は938億8860万円となりました。

総務費では、来年度の制定に向けた市民憲章に係る委員会

一般会計

歳入の主なもの	
市税	3億8,923万円
国庫支出金	350万円
県支出金	4,415万円
寄付金	200万円
繰越金	1億5,283万円
諸収入	2,500万円
市債(借金)	9,790万円

歳出の主なもの	
議会費(減額)	△57万円
総務費(増額)	9,255万円
市民憲章制定に向けての準備費	30万円
白山レイクハイランドへの補助金	1,663万円
民生費(増額)	5,282万円
法人保育園運営費負担金返還金	153万円
衛生費(増額)	1,705万円
妊婦健診に対する助成制度拡大に伴う健診事業費	1,494万円
市民健康診査の受診見込み増による委託事業費	1,867万円
農林水産費(減額)	△539万円
商工費(増額)	2億5,882万円
観光事業特別会計への繰出金	2億6,700万円
土木費(増額)	4,056万円
北陸新幹線建設関連市道付替測量設計業務委託費	2,500万円
都市計画マスタープラン策定委員会設置経費	116万円
松任駅南北連絡自由通路予備設計費	200万円

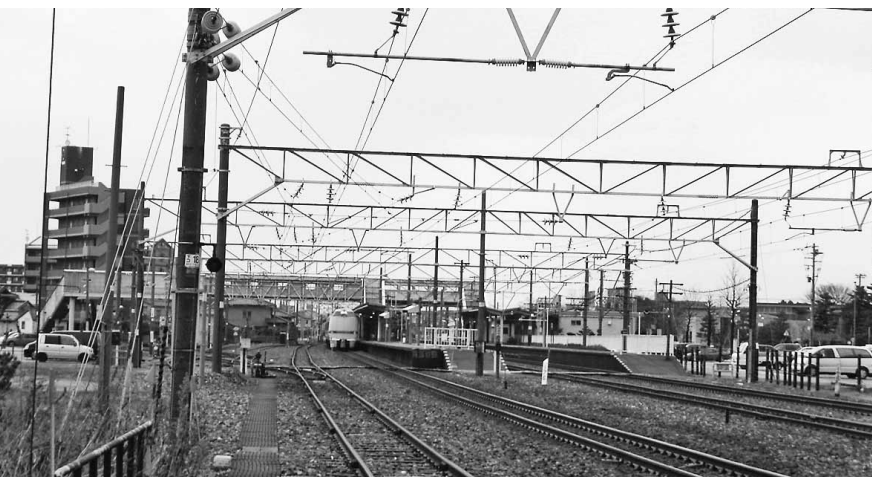
消防費(増額)	26万円
教育費(増額)	1億1,813万円
明光小学校仮設校舎増築費	1,970万円
美川中学校自転車置き場増設工事費	500万円
中学校体育連盟・文化連盟、大会派遣補助費	1,152万円
松任総合運動公園陸上競技場トラック等改修費	4,500万円
災害復旧費(増額)	5,595万円
豪雨等による林道復旧工事費(1路線)	
公債費等(増額)	8,443万円
公的資金を低利の民間等資金に借換	

債務負担行為補正

新幹線関連の市道付替え測量設計業務(期間:平成20年度)	1億2,500万円
都市計画マスタープランの策定(期間:平成20～21年度)	3,100万円
松任駅南北自由通路の予備設計(期間:平成20年度)	1,000万円
統合小中学校第2期事業の屋内プール及び運動場の整備事業(期間:平成20年度)	4億7,170万円
陸上競技場の整備事業(期間:平成20年度)	3,500万円

地方債補正

北陸新幹線建設事業	440万円
林道施設災害復旧事業	950万円
公的資金の繰上償還に伴う借換債	8,400万円



自由通路が計画されている松任駅

の開催費、北陸新幹線建設事業費追加負担金など、衛生費では、妊婦健診に対する助成制度の拡大に伴う健診事業費など、商工費では、市営スキー場に係る観光事業特別会計への繰出金などが計上されました。

土木費では、北陸新幹線の建設関連市道付替えに係る測量設計費、平成21年度を目的に都市計画マスタープラン策定のための委員会設置などの経費、松任駅南北自由通路の予備設計事業費など、教育費では、平成20年4月に開校となる白嶺小・中学校の準備経費、児童数の増加による明光小学校の仮設校舎増築費、美川中学校の自転車置き場増設費、松任総合運動公園陸上競技場整備事業費など、公債費では、公的資金補償金免除繰上償還費が増額補正計上されました。

特別会計については、その主なものとして、国民健康保険特別会計では療養給付費の確定による返還金と交付金収入による財源更正など、観光事業特別会計では使用料から利用料金制への変更に伴う財源更正、下水道事業特別会計では公的資金補償金免除繰上償還費などをはじめ、6つの特別会計で総額55億185万7000円、また、水道事業会計及び工業用水道事業会計については、公的資金補償金免除繰上償還費など2つの事業会計で総額5億8196万円が増額補正計上されました。

本会議で審議の結果、補正予算案は可決となりました。

■条例案

主な条例案の内容

- ・白山市学校教育施設整備基金条例
市が設置する学校教育施設整備の財源に充てるための基金を創設
- ・白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
国家公務員の給与の改定に準じ、若年層に限定した給料表の改正
- ・白山市立学校設置条例の一部を改正する条例
平成20年4月より白嶺小・中学校の開校に伴い、名称と位置を決定
- ・白山市保育所条例の一部を改正する条例
平成20年4年に尾口保育所を廃止し、吉野保育所に統合
- ・白山市子育て支援医療給付金支給条例の一部を改正する条例
医療費助成対象年齢を小学校卒業までから中学校卒業までに拡大

■事件処分案

主な事件処分案の内容

- ・白山石川医療施設組合規約の変更
- ・「県営かんがい排水事業中村用水第2地区及び緊急雨水排水対策事業に関する協定について」の議決の一部変更

■決算の認定

- ・平成18年度白山市一般・特別・事業会計の歳入歳出決算を認定

■人事案

- ・人権擁護委員候補者の推薦を答申
(再) 宮西外志夫さん(博労二丁目) (新) 北村市範さん(福増町)
(再) 石黒加代子さん(水島町) (新) 牧野良巳さん(河内町福岡)
(再) 徳田紀子さん(成町)

■議会議案

- ・道路特定財源諸税の暫定税率維持に関する意見書
- ・原爆症認定制度に係る問題の早期解決を求める意見書
- ・民法第772条の嫡出推定に関する運用の見直しを求める意見書
- ・メデイカルコントロール体制の充実を求める意見書
- ・「非核日本宣言」を求める意見書

決算審査特別委員会報告

平成18年度決算を認定

先の第3回市議会定例会において、当委員会に閉会中の継続審査として付託された議案第85号、議案第97号の一般会計をはじめとする各会計決算について、11月中、3日間にわたり委員会を開催しました。

採決の結果、議案第85号、86号及び議案第88号は賛成多数で、そのほかの10議案は全会一致をもって認定すべきものと決定しました。

主な意見

○歳入（一般会計）

厳しい財政状況の中、安定した自主財源の確保が大切であり、市税等の滞納者に対しては、負担公平の観点から適切な処置を行い、滞納の解消にさらに努力すること。

○歳出（一般会計）

総務費 市営駐車場や運動公園などの市全体の借地については、将来にわたって借地料が毎年負担となることから、借地の整理・見直しを今後検討すること。

衛生費 し尿の処理量は、下水道の普及に伴い減少しているため、白山石川医療施設組合と手取川流域環境衛生事業組合のし尿処理施設の統廃合等を検討すること。

土木費 市内の公園の植栽管理状態が悪いことから、委託管理内容を改善すること。

その他 山ろく地域の各温泉について、利用者が少ない反面、修繕費などの維持管理費が高つくため、今後地域振興策を含めて利用促進を検討すること。

総括

地方財政を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあり、今後多額の公債費負担が予想されるが、市民と協働による市政運営を行うため、経費の削減、事務の効率化や効果的な執行を行い、健全な財政運営・自治体経営に努めること。

白山市の家計簿

平成18年度一般会計決算を前年度と比較し、家計簿を作成しました。（金額については、決算を1万円の1にしてあります。）

■収 入				
項 目		18年度	17年度	差引
給与（年収）		363万円	368万円	△5万円
	基本給	271万円	276万円	△5万円
	諸手当	92万円	92万円	—
パート収入ほか	使用料、手数料、諸収入等	34万円	35万円	△1万円
手持ち資金	繰越金	16万円	23万円	△7万円
定期預金の取り崩し	繰入金	7万円	23万円	△16万円
銀行からの借り入れ	市債	67万円	83万円	△16万円
合 計		487万円	532万円	△45万円

■支 出				
項 目		18年度	17年度	差引
食費	人件費	72万円	72万円	—
医療、介護、保育費	扶助費	39万円	36万円	3万円
光熱水費、通信費等	物件費等	75万円	86万円	△11万円
交際費等	補助費	54万円	58万円	△4万円
家の改修、自動車・電化製品の購入	建設事業費	99万円	121万円	△22万円
子どもへの仕送り	繰出金	52万円	58万円	△6万円
ローンの支払い	公債費	77万円	75万円	2万円
定期預金積立	積立金	7万円	10万円	△3万円
合 計		475万円	516万円	△41万円
翌年度手持ち資金	実質収支	12万円	16万円	△4万円
■ローン残高（市債残高）		713万円	711万円	2万円
■定期預金残高（基金残高）		17万円	17万円	—

一般質問 議員12人 市政を問う

12月定例会の一般質問は、10日、11日の2日間にわたり行われました。

10日質問議員

藤田 政樹 議員 6ページ
新工業団地の立地計画について

小島 文治 議員 6ページ
地球温暖化防止に対応した環境条例を
制定すべき

本屋 彌壽夫 議員 7ページ
町内外周道路内側の土地を
宅地で販売できないか

清水 芳文 議員 7ページ
避難所の所在を示す市内共通の
案内看板の設置を

古河 尚訓 議員 8ページ
子ども後期世代（15～18歳）への
対応が見えない

宮中 郁恵 議員 8ページ
マイバッグ持参を市民一斉運動に

寺越 和洋 議員 9ページ
市長のめざす日本一とは何か

11日質問議員

村本 一則 議員 9ページ
食育導入による白山市のまちづくりを

小川 義昭 議員 10ページ
中心市街地の活性化計画を策定せよ

水上 俊明 議員 10ページ
市の平均学力が
県の平均値を上回るような指導を

竹田 伸弘 議員 11ページ
公立病院の改革ガイドライン策定は
存続を前提に

宮岸 美苗 議員 11ページ
3人目の保育料の無料化を実施せよ



*** 皆さまの傍聴をお待ちしております ***

※本会議の傍聴は、当日、市役所7階で受け付けています。

※一般質問など本会議の会議録は、白山市ホームページ (<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp>)
でご覧になることができます。



藤田 政樹 議員

Q 新工業団地の立地計画について

A 平成28年度を目途に5カ所程度の整備を図りたい

ゆとり教育からの脱却

質問 全国学力・学習状況調査結果を受け、本市として学力向上にどのように対処するのか。

教育長 この調査結果を分析し、具体的な取り組みを推進し、教員の研修内容も見直したい。

財政力向上

質問 新工業団地の立地計画について問う。

市長 自主財源確保の観点から、工業団地の造成は重要であり、平成28年度を目途に、既存の工業団地との隣接性や企業間の利便性を考慮し、5カ所程度の整備を図りたい。

質問 工業団地内の公園の有効活用について問う。

目的ある公園に、グラウンドゴルフ場等を

市長 新工業団地には？



小島 文治 議員

Q 地球温暖化防止に対応した環境条例を制定すべき

A 温室効果ガス削減へ条例の制定に向け調査研究する

地球環境問題は深刻

質問 地球環境問題について、市長の認識を問う。

市長 温室効果ガスの削減目標達成に向けて、自治体や地域の役割は重要。市民、事業者、行政が共通認識のもとに、意識改革を進め、二酸化炭素削減に結びつく行動がとれる地域社会を築く必要がある。そのために、「仕組みづくり」、「人づくり」、「意識づくり」を対策の基本的な柱として、市民総参加により総合的かつ計画的に推進していく。

質問 地球温暖化防止のための条例の制定と計画書の策定を求める。

市長 本市の豊かな自然の恵みを再認識し、循環を基本とした持続可能な社会を構築する上で、大変有意義である。

循環型社会の構築を

質問 地球温暖化防止のための条例の制定と計画書の策定を求める。

市長 本市の豊かな自然の恵みを再認識し、循環を基本とした持続可能な社会を構築する上で、大変有意義である。

各主体の役割を明確に上げた授業を行っている。し、実効性のある取り組みさらに、「あいさつ運動」を総合的に展開する必要がある。今後関係機関や市民団体とも協議しながら、指導の充実を図っている。

質問 児童生徒の悩みは多様化している。教育相談の対応策を問う。

質問 児童生徒の悩みは多様化している。教育相談の対応策を問う。

教育委員長 不登校対策については、市教育相談員等を学校に派遣して、教育相談の充実を図っている。

市長 また、中学生の喫煙対策については、学級指導でたばこの健康への害を取り



笑顔であいさつ



本屋 彌壽夫 議員

Q 町内外周道路内側の土地を宅地で販売できないか

A 白山市都市計画マスタープラン策定時県と協議する

質問 集落の中にある水田を宅地に変えて住宅を建設することは、無秩序な開発か。

白山市には153の田園集落があり、この町内に新しい住宅ができなければ、その町内の戸数は絶対に増えることはない。町内会の運営、農道・用水の保守・保全、コミュニケーションの悪化、積雪時の町内の除雪、火災の発生時はどうするののか。

平成10年法律第41号、優良田園住宅の建設促進に関する法律が施行されている。法律では集落内の田については住宅を建設することができるとなっている。白山市に合った優良田園住宅建設がしやすいような基本方針の策定、地区計画の緩和、公庫融資の対象、税制上の優遇措置など検討できないか。

市長 本市では松任地域、

美川地域、鶴来地域にそれぞれ都市計画が定められているが、今後一元化に向けて、松任地域では、市街化区域、市街化調整区域の区域区分により、土地利用の方針が決まれている。従って、松任地域の市街化調整区域内での開発行為には制限がある。優良田園住宅を建設するには、あらかじめ知事と協議し、基本方針の作成、建設計画の認定を受けることにより建設許可となる。基本方針作成には、都市計画マスタープランに明記されることが必要である。合併により



町内外周道路内側の土地



清水 芳文 議員

Q 避難所の所在を示す市内共通の案内看板の設置を

A 設置されていない所から順次設置する

質問 ①白山市にある日本一の中に世界一はあるか。②ギネスに挑戦するイベント開催を企画してはどうか。③市内のオンラインやナンバードワンを見学する産業観光を推進せよ。

観光推進部長 ①調査した上で検討したい。②ギネスに挑戦する企画があれば全面的に支援したい。③企業と意見調整を図り推進したい。

行財政改革について

質問 市内の公共施設の在り方を検討する委員会の設置を提案する。

総務部長 行財政改革推進本部会議の幹事会で検討する。

防災対策について

質問 ①地域の避難所に

市内共通の案内看板と太陽光発電の照明灯を設置せよ。②市内8つの地震計が老朽化・故障したときの対応は。③市内の地震調査や白山の噴火調査を開始してはどうか。④防災意識を高めるため、白山市除雪デーの設置を提案する。

市民生活部長 ①市内共通の案内看板は、設置されていない所から順次設置する。既に設置されている所は、更新時に取り換える。照明灯の設置は、財政的に困難である。②設置者である国や県が更新・修理する。③国・県・研究機関の情報に注意する。④今後検討したい。

石川広域農道の4車線化について

質問 ①徳光北交差点から美川方面への4車線化の着工時期は。②スマート

避難所の所在を示す現在の案内看板



避難所の所在を示す現在の案内看板



古河 尚訓 議員

Q 子ども後期世代（15～18歳）への対応が見えない

A 権利条例に基づき、青少年に「語らいの場」を計画

質問 5年を見通した子ども権利条例の行動計画がまとめられた。そこには15～18歳世代への対応が見えない。将来展望が定まらない子どもたちの居場所・空間が設置できないか。

教育長 将来展望が定まらないこの世代の子どもの居場所として、現在子ども支援を行っている松任文化会館の一部を活用する。彼らが気軽に集

い、語らいができる場をめぐしたい。

全国学力テストの公表

質問 白山市は県内で金沢市に続き、平均正答率と学習環境について公表した。統計学上、結果の数値には有意差はない。むしろ公表が自治体間の競争を

おるものと懸念する。なぜこのような数値を示す必然性があつたのか。

また、本市の学校の対応とテスト体制化を危惧するが、どうか。

教育委員長 市民に対し説明責任を果たすため、調査結果から見られる本市の課題を公表し説明することは必要であつた。

教育長 各学校

質問 04年にユネスコ支援で「世界ジオパークネットワーク」が設立され、国内組織もでき、来年には申請1号をめざすと聞く。白山や白山ろくは多種多様な地質遺産を有する。世界文化遺産にも弾みがつくことから、まず、全国組織に参加してはどうか。

教育部長 市内には、幸い地質関連の公共施設が集中しており、地域住民や関連機関と十分調査研究していきたい。



宮中 郁恵 議員

Q マイバッグ持参を市民一斉運動に

A あらゆる機会を通し、推進のPRをする

二酸化炭素削減の推進

質問 国内で年間313億枚のレジ袋が使用され、石油消費量は東京ドーム1杯分である。レジ袋は家庭ではごみ袋に使われ、最終的には燃やされてしまう。CO₂削減として、レジ袋削減の取り組みをせよ。

また、市独自の指定ごみ袋導入の考えはあるのか。

市民生活部長 平成20年早々、市内のスーパーと協働でレジ袋削減に向けた「エコキャンペーン」に取り組む。

市独自の指定ごみ袋導入は、ごみの有料化を実施するときに併せて検討する。

オストメイト対応トイレの推進拡充

質問 人工肛門、人工膀胱を持った方が利用するオ

ストメイト対応トイレは、山ろく地域と美川地域は未整備状態である。建設中の白嶺小・中学校や今後建設予定のすべての公共施設に設置し、市内全域に整備せよ。また、民間観光施設にも整備するよう、市の働きかけが必要である。

市立 現在市内に10カ所設置、今後新しく建設する公共施設に極力設置したい。観光振興の面から関係団体に働きかけていく。

5歳児健診の推進をせよ

質問 5歳児健診は、学習障害（LD）や注意欠陥・多動性障害（ADHD）等の発達障害児や弱視児の早期発見、早期療育につながる。就学前健診で発見されたのでは遅いといわれている。

検討課題とする

市長 臨床心理士や小児精神発達専門医師等の指導体制が必要となるため、今後研究していく。



子ども権利条例に基づく「市長を囲む子ども会議」

また、本市の学校の対応とテスト体制化を危惧するが、どうか。

教育委員長 市民に対し説明責任を果たすため、調査結果から見られる本市の課題を公表し説明することは必要であつた。

教育長 各学校

質問 04年にユネスコ支援で「世界ジオパークネットワーク」が設立され、国内組織もでき、来年には申請1号をめざすと聞く。白山や白山ろくは多種多様な地質遺産を有する。世界文化遺産にも弾みがつくことから、まず、全国組織に参加してはどうか。

教育部長 市内には、幸い地質関連の公共施設が集中しており、地域住民や関連機関と十分調査研究していきたい。

校舎内のオストメイトトイレ



寺越 和洋 議員

Q 市長のめざす日本一とは何か

A バランスのとれた行政日本一をめざす

白山市の日本一とは

質問 市長のめざす日本一とは、何か。

市長 住みよい日本一のため、バランスのとれた行政日本一をめざす。

質問 市内の企業の日本一に、名刺や各ホームペー

ジ等に「市も推薦・応援している」との表現を認めよ。

産業部長 市内工業団地運営協議会等の中で、提案内容を企業等からのニーズを確認して、支援に取り組む。

質問 市内の観光部門の日本一に「日本一」と表示したサイン看板を設置せよ。

観光推進部長 設置計画や標識の表記等のデザイン計画を策定するので、各標識に「日本一」を表示することを盛り込んでいく。



館畑地区で開催された「こんにちは市長です」

「こんにちは市長です」の総括を問う

質問 「こんにちは市長です」の総括と今後の地域づくりへの思いは。

市長 市民からは、合併に対する不安より、今後の期待が寄せられた。また、地域それぞれの歴史と文化、自然に恵まれたすばらしい地域であると感じるとともに、今後、市民が主役のまちづくりで、すばらしい白山市をつくらせていきたい。

行政の縦割り対策は

質問 縦割り行政の弊害

対策のため、各部署が共同で対処すべき業務について、諸課題解決のため、「部局横断課題解決案作成チーム」を設置せよ。

副市長 「チーム」は、横断的で効率的な検討を行うための有効な手法であると考え。今後、当面する課題について取り組み、縦割り行政とならないように留意していく。

企業誘致を進めよ

質問 国道157号・加賀産業道路沿線での企業誘致を推進せよ。

市長 市都市計画マスタープランの中で取り組み、産業部長 両道路は、市内を縦断する重要な幹線道路で、全体的な土地利用計画の中で検討していく。



村本 一則 議員

Q 食育導入による白山市のまちづくりを

A 食品の基である白山の水をキーワードに検討する

子どもたちの知育・徳育・体育の基礎は食育

質問 食育は明治時代に

初めて使われ、「学童を養育する人々はその家訓を厳しくして、体育・知育・才育・徳育は即ち食育なるとべけんや」と食育が大切であると訴えていた。食育の先進地、子どもの料理教室に重点を置いて活動している小浜市の担当者を講師として招き、食育の講演、体験会をする考えはないか。

健康福祉部長 キッズキッチンを進めるために、まず小浜市の担当者を招いて、講演会を開催し、浸透を図っていく。

来年3月26日に講演会予定

市長 食による地域おこ

しや水を生かしたまちづくりを進めている。食育は大切である。

健康福祉部長 キッズキッチンを進めるために、まず小浜市の担当者を招いて、講演会を開催し、浸透を図っていく。

支所の段階的統合の道筋を示せ

質問 地方自治法では「最小の経費で最大の効果を上げるように」と規定されている中で、行政改革の重要課題として本庁方式の方向性について示してほしい。

住民を交えた統廃合検討委員会を立ち上げたい

市長 防災の拠点としての役割は必要であるが、効率的な職員の配置、住民サービス向上、経費削減の



住民サービスに支所の統廃合は急務





小川 義昭 議員

Q 中心市街地の活性化計画を策定せよ

A 市街地再生をめざし、活性化計画の策定に取り組む

力も重要である。

松任地区中心市街地の活性化について

質問 「松任市中心市街地活性化計画」の成果と反省点を問う。

市長 中心市街地の活性化に鋭意取り組んできたが、現状は依然として大変厳しい。しかし、各種イベントが地域に定着し、駅前開発事業や千代尼通りの電線地中化などの事業を進めており、相乗効果を期待する。また、地元商店街の自助努

質問 「白山市中心市街地活性化計画」の策定及び「中心市街地活性化協議会」の設立を問う。

市長 都市計画マスタープラン策定にあわせ、中心市街地の位置などを総合的に見直し、商業施設などの集積で市街地再生をめざす「白山市中心市街地活性化計画」の策定に取り組む。

財政健全化法について

質問 健全化法に係る本市の平成18年度試算数値は、その数値をどう考えるか。

企画財政部長 昨年度決算の試算結果、4財政指標の「実質赤字」及び「連結実質赤字」は黒字、「実質公債費比率」は20・6%、「将来負担比率」は25

8・6%で共に健全段階の関係団体と協議し、近々準備会を立ち上げる。持するよう努力する。

質問 さまざまな機能がコンパクトに集積したモデル都市の構築をめざしてはどうか。

質問 来年度の予算編成はどのような方針か。

市長 持続可能な社会をめざすには、有効な考え

企画財政部長 中期財政計画をもとに、対前年度の3%を削減し、高利息の市債などを借り換え、公債費を80億円程度に平準化し、計画的な予算編成を行う。



松任獅子まつりにでにぎわう商店街

方である。市内には、それぞれ特徴的なまちがあ

り、地域別に課題などを調査し、都市計画マスタープラン策定の中で議論する。



水上 俊明 議員

Q 市の平均学力が県の平均値を上回るような指導を

A 各学校の課題を明らかにし、その改善に取り組む

最低点などは示されていない。

質問 いい学校づくりを進めていくための一つの方法として、保護者、地域の住民が関係する学校の学力テストの詳しい結果を知ることができるよう措置せよ。

質問 学校ごとの詳しいデータを議会に開示する

教育長 国から個々の学校について結果を公表すべきではないと指導されている。

教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。

質問 誰が学校を序列化し、それが児童生徒の学力向上にどのような障害となるのか。

教育長 一律に個々の能力を比較し、序列化することが子どもの心身に悪影響を与えることが指摘されている。序列化することによって弊害が生じる可能性はある。適度な競争は良薬となるが、過度な競争は避けなければならない。

外部監査制度の導入について

外部監査の実施時期については、「平成20年度中に態勢整備」との市長答弁があった。

質問 全国学力テストの結果に基づいて学校を指導するには、学校ごとの詳しいデータが必要だ。

教育長 学校ごとの結果を公表すべきではないと国から指導されている。

質問 市内教職員に40億円以上の人件費がかかっていることも、市で数十億円を投下して学校を建築していることも、学力が向上してこそ意義がある。教職員が常にそういうことが意識できるような指導が必要だ。

教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。

質問 全国学力テストの結果に基づいて学校を指導するには、学校ごとの詳しいデータが必要だ。

教育長 学校ごとの結果を公表すべきではないと国から指導されている。

質問 市内教職員に40億円以上の人件費がかかっていることも、市で数十億円を投下して学校を建築していることも、学力が向上してこそ意義がある。教職員が常にそういうことが意識できるような指導が必要だ。

教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。

質問 市内教職員に40億円以上の人件費がかかっていることも、市で数十億円を投下して学校を建築していることも、学力が向上してこそ意義がある。教職員が常にそういうことが意識できるような指導が必要だ。

教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。

質問 市内教職員に40億円以上の人件費がかかっていることも、市で数十億円を投下して学校を建築していることも、学力が向上してこそ意義がある。教職員が常にそういうことが意識できるような指導が必要だ。

教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。

質問 市内教職員に40億円以上の人件費がかかっていることも、市で数十億円を投下して学校を建築していることも、学力が向上してこそ意義がある。教職員が常にそういうことが意識できるような指導が必要だ。

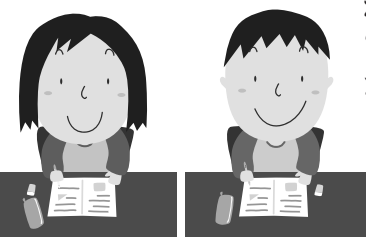
教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。

質問 市内教職員に40億円以上の人件費がかかっていることも、市で数十億円を投下して学校を建築していることも、学力が向上してこそ意義がある。教職員が常にそういうことが意識できるような指導が必要だ。

教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。

質問 市内教職員に40億円以上の人件費がかかっていることも、市で数十億円を投下して学校を建築していることも、学力が向上してこそ意義がある。教職員が常にそういうことが意識できるような指導が必要だ。

教育長 その通りであり、未来に向けて一生懸命に取り組んでいく。





公立つるぎ病院



公立松任石川中央病院



竹田 伸弘 議員

Q 公立病院の改革ガイドライン策定は存続を前提に

A 急性期・療養型とし、健全経営・プランを策定する

質問 財政健全化法の施行に伴い、財政状況から公立病院の独立採算を原則とする改革プランを、平成20年度に策定することとされている。赤字経営の病院は、住民の意志にかかわらず廃止・統合を視野に入れるという国の強い姿勢もあるように聞くが、病院はスキー場や公共施設の民間委託や廃止議論と違い、市民の生活に直結することから、状況によっては大きな課題であり、特に無医村・過疎地域の住民にとって深刻な問題だ。

市長 国から指示された改革を実施しなければ、公立ではなく民間でやれという指導がある。健全経営のもと、特に公立つるぎ病院は山ろく地域のへき地医療の役割を十分果たしている。赤字経営の病院は、住民の意志にかかわらず廃止・統合を視野に入れるという国の強い姿勢もあるように聞くが、病院はスキー場や公共施設の民間委託や廃止議論と違い、市民の生活に直結することから、状況によっては大きな課題であり、特に無医村・過疎地域の住民にとって深刻な問題だ。

必要だと思つた。

質問 公立病院の改革ガイドラインの策定にあたっては、地域において必要なのは、維持可能な、職員が働きやすい職場である病院改革が策定したい。



宮岸 美苗 議員

Q 3人目の保育料の無料化を実施せよ

A 新年度予算編成の中で検討したい

保育所民営化に不安の声

質問 公立保育所の民営化に対し、「保育料の負担増」と「経済効率優先・雇用の不安定化で保育の質が低下しないか」との疑問に答えたいまま、民営化に踏み出してはならない。

市長 「公立保育所のあり方検討委員会」で審議中だが、どの保育所を廃止し、民営化するかということを決めるものではない。保護者アンケートの結果を参考に、良質な保育サービスを安定的に提供できる方策を検討していく。

民営化はやめ、公立・法人ともに充実の支援をせよ

市長 民営化を進める上でも、法人保育園への何らかの支援は必要だ。近隣市町の状況も参考に検討していきたい。

統廃合ではなく、少子化克服・定住対策を

質問 尾口保育所は児童数減少で廃止され、吉野保育所に統合される計画だが、少子化を前提にした保育行政ではなく、その地域に人が住み続けられる町づくり対策こそ優先されるべき。

市長 統廃合に関連しての定住化促進については、計画に基づき地域が自立できる支援策を講じていく。情報基盤整備事業や白峰地区の街並み整備事業などを進めることで、Uターン者などの定住促進に努めている。

後期高齢者医療制度

質問 平成20年4月から、75歳以上の人は新たに保険料が徴収され、医療費抑制のために限定的な医療しか受けられない後期高齢者医療制度が始まる予定。市は、制度の中止・見直しを国に

要請せよ。保険料減免や十分な相談体制で対応し、滞納者から保険証を取り上げることがするな。

健康福祉部長 市独自の軽減策はしない。滞納者へは国保と同様の対応を行う。

米価暴落の影響は

質問 米価暴落の実態と地域経済への影響をどのように把握しているか。

産業部長 影響はあると考えられるが、米価下落に対応できるよう、品目横断的経営安定対策を進めており、そこでは一定の所得が確保されるものと考えている。

地産地消で買い支えを

質問 公共施設での地産地消の推進で、生産者への買い支えを図れ。

産業部長 数値目標も定めながら、さらに推進したい。

北陸新幹線整備関連事業が進められる

総務企画常任委員会

新幹線車両基地とJR松任工場のかかわりは

質問 新幹線車両基地と現在のJR松任工場のかかわりはどのようなものになるか。

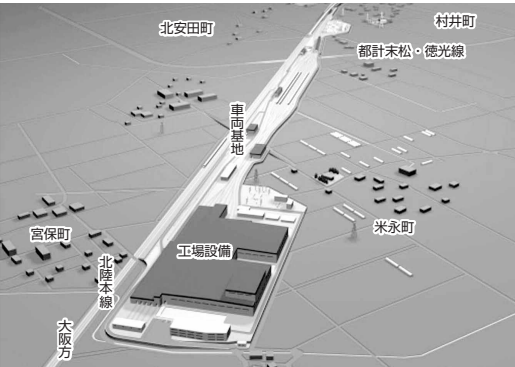
答え JR松任工場は在来線の車両の補修・点検業務のためのものであり、今後も存続する予定である。白山総合車両基地は新幹線専用であり性格は異なる。

質問 白山市に車両基地ができることは新たな雇用が生まれてよいことだ。しかし、松任駅には新幹線は停車しないので、駅舎整備の経費などの面において強く要求していかなければならないのではないか。

答え 松任駅舎の補償費などにおいて調整を行っている。また、市長会などで強く意見を述べているところである。

原油高騰に対する対策は

質問 原油高騰による諸物価上昇



白山総合車両基地完成予想図

が懸念され、社会への影響力は大きい。市として何か関心を持っているか。

答え 国では補助制度を考えているようである。他市では高齢者などへの灯油の補助を考えており、本市においても関心を持って勉強しているところである。

議会図書室の充実の考えは

質問 地方自治法では議会図書室を設けなければならないが、白山市に限らず蔵書が少ない。図書の充実に関して、来年度に向けてどのように考えているか。

答え 現在の蔵書は資料がほとんどである。予算の範囲内で、政務調査費関連図書などを整備したい。

総合評価方式入札の試行に関して

質問 白山市では、優良工事の表彰を行っているか。

答え 今はないが、今後は表彰制度を考えていきたい。

質問 技術提案の評価は誰が行うのか。

答え 市職員、学識経験者で構成する総合評価委員会を設置し、そこで審査する。

意見 災害活動の協力の評点は2点であるが、地元業者は災害時や除雪活動において地域に多大な貢献をしている。もう少し点数を上げるべきである。

尾口保育所児童減少4月廃止、統合へ

文教福祉常任委員会

12月14日、委員会を開催し、議案8件、請願1件、陳情1件を審議した。

白山市学校教育施設整備基金条例をはじめとする条例案、補正予算案及び事件処分案を全会一致で可決した。

条例では、公立保育所のあり方検討委員会の報告を待たず、平成20年4月から尾口保育所が廃止され、吉野保育所に統合される。

4月から後期高齢者医療制度

高齢者の医療費を安定して支えるため、高齢者全員が、負担能力に応じて公平に保険料を負担する制度に変わるもので、石川県内に住む人は同じ金額であるが、所得によって軽減措置もあるなどの説明を受けた。

▽これまで保険料負担のなかった扶養家族も含め、75歳以上のすべての人から保険料を集める。

▽月1万5000円以上の年金がある人は保険料を年金から天引きする。

▽病院などでの支払いは75歳以上が1割負担。70歳から74歳は、今は1割負担であるが、平成21年から2割に上がる。

後期高齢者医療制度の見直しに関する請願は、審議した結果将来にわたって持続できる医療

保険として法律が改正された新制度であることから、全会一致で不採択とした。

補正予算の主なものは次のとおり。

- ・国民健康保険：出産育児一時金の支給件数増、財源調整
- ・介護保険：居宅サービスの増及び施設サービス費の減並びに住宅改修費の増、配食サービス等の増

委員会では、白嶺小・中学校建設現場を視察し、工事の進捗状況を確認した。また、市内の法人保育園を視察し、特別保育などの説明を受けた。



建設の進む白嶺小・中学校

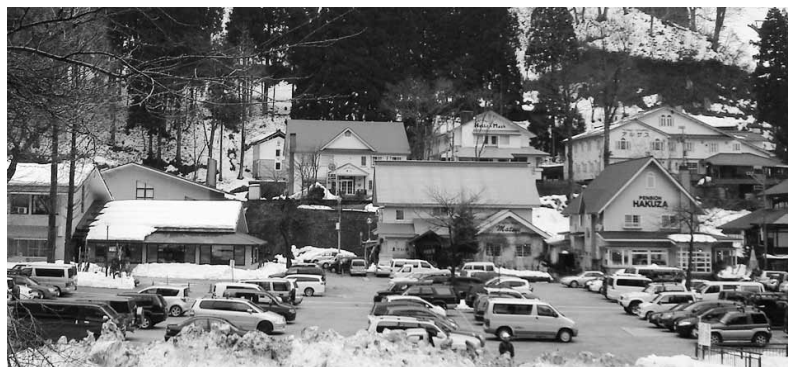
生活経済常任委員会

指定管理、市は地元と会社が協議できる場を調整せよ

市営スキー場の指定管理について

質問 金沢セイモアスキー場、一里野温泉スキー場の市営スキー場が指定管理となり、公から民間へ移ることによって、地元にあるレストランや民宿に、その営業や生活環境が変わるなどの影響がある。新会社と地元が十分協議できる場を市がきつちりと調整せよ。

答え 地元との協議について、新会社ではシーズン中も協議する場を設けていく形で話を進めていくと思う。



金沢セイモアスキー場周辺の宿泊施設

陳情について

・杉森町地区の間伐を促進するための、北陸電力の導水路を横断する作業道関連施設設置に伴う、市の単独助成を求める。
・平成20年度の予算編成に当たり、中小・小規模企業対策の抜本的な強化と商工会が要望する補助金の完全予算化を求める。
・獅子吼高原エリアに対する助成措置の継続を求める。

質問 スカイ獅子吼には獅子吼高原の振興のため、平成18年度から20年度までの3年間、4200万円ずつ助成しているが、21年以後の契約については白紙状態であり、ゼロからのスタートとなるのか。

答え 21年以後のことについては、再度協議することになる。金額ベースを考えると、今支払っている金額がベースになると考える。



助成を受けているスカイ獅子吼

建設企業常任委員会

都市計画マスタープランに市民の意見を

都市計画マスタープラン策定事業

質問 策定にあたり、市民の意見の反映や地域審議会への説明は考えていないか。

答え 市民アンケートや地域役員アンケートにより、地区の意向を確認する。地域審議会への説明は、地区懇談会を開催するため考えてないが、要請があれば実施したいと思う。

松任駅南北連絡自由通路予備設計事業

質問 自由通路の1日当たりの利用人数は何人ほど想定しているのか。

答え 現在松任駅の利用者は1日平均約6000人であり、単に通路としてだけでなく、駅利用も含めて考えており、この人数よりも増えると思うが、今後研究していきたい。

白山市耐震改修促進計画

質問 公共施設（※特定建築物）の耐震化率の把握と現況はどうなっているか。

答え 把握しており、特定建築物の約56%が耐震化されている。

※特定建築物（地震により倒壊し、大きな被害をも

たらずと想定される建築物）

意見 下水道事業の整備には多額の金額を要していることから、下水道の加入促進について広報等を通じて周知してほしい。

その他 11月20日に当委員会において、松任駅南複合型立体駐車場や市道末松徳光線などの工事箇所を視察した。その中で、現在松任駅前の工事が進められているが、早急に歩行者が安全に通れるように執行部に対し要望した。なお、最終的な完成は来年3月ごろになるとのことであった。



松任中央浄化センター（水処理施設棟）を視察

財政健全化法について

財政問題対策特別委員会

去る10月23日・24日の2日間にわたり、総務省の財政調査課と東京都港区を視察研修しました。

総務省財政調査課

「会計制度改革」と「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」

「公会計制度改革」は夕張市の財政再建団体への指定などが発生したことにより、自治体の財政の透明性・健全性の向上が一層求められ、現在進められています。減価償却等の見えにくいコストの明示や、起債残高などの将来負担に対する意識を持つてもらふこと、また、公社や第三セクターなどとの連結を踏まえた全体的な財政状況の把握が求められています。今後は、財務書類4表の整備が必要となり、これらを皆さんに分かりやすく開示していくことも重要な課題となっています。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は健全化判断比率の4指標を導入し、財政の悪化を早期に把握し、自主的な改善と国などの関与による確実な再生が目的とされています。本市における平成18年度決算では、4指標のうち実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率には問題ありませんが、実質

公債費比率が20・6%となっており、今後借り換えなどにより、抑えていく必要があります。

東京都 港区

「財政を健全化」

港区では、バブル経済の崩壊により、税収が大幅に落ち込んだため、平成9年に作成した財政構造改革指針に基づき、10年間で職員を421人削減しました。これによる行政サービスの低下を招かないよう職員教育も積極的に実施しました。また、事業の見直しでは、必要性、緊急性、費用対効果などを勘案し、廃止・縮小・先送りを含めゼロベースで断行した結果、経常収支比率は平成8年度の96・6%が18年度は52・3%と大幅に改善しました。更に今後10年間で360人を削減目標にされています。このような改革のほか、各支所では窓口業務だけを行っていましたが、「住民の様々なニーズや地域の特性に根差した政策を実現するためには総合支所が必要」との港区長の強い方針から、支所長の権限拡大と支所予算の新たな配分に取り組むとのことでした。行財政改革を進めながらも、住民生活に重点を置いた港区の方針転換は、本市も大いに参考にすべき事項であります。

産業振興を考える
～企業誘致（立地）について～

産業振興対策特別委員会

現在、当委員会では、企業誘致（立地）について、調査研究を行っています。昨年10月23日・24日の2日間、岐阜県可児市と愛知県常滑市を視察研修しました。

岐阜県 可児市

民間による工業団地造成

可児市には、県下最大の工業団地をはじめ、4つの工業団地がありますが、特色は、工業団地の造成に、民間業者がかかわっているという点です。民間業者が造成するということは、市にとって先行投資のリスクなしに、企業誘致活動が行えるという利点があります。二野工業団地の例では、バブル期に住宅団地の開発が中断し、塩漬け状態となっていたものを、高速道路の開通や、近ごろの経済動向から売れると判断した民間業者が、土地を買い足し、工業団地として造成、販売しています。

愛知県 常滑市

「中部臨空都市」について

常滑市沖に開港した中部国際空港を支援するための企業を誘致する目的で、造成された区域の総称が「中部臨空都市」です。機能別にゾーン分けがなされて

おり、多種多様な業種の企業誘致が可能となっていました。市役所にはすべての部長及び課長で構成されたプロジェクトチームがあり、全庁挙げての企業訪問も行われています。

現在、白山市には、15の工業団地があり、さらに、新工業団地造成に向けての事業も進められています。今後、企業の立地動向調査をしっかりと行った上で、市全体の産業振興施策を打ち立て、工業団地造成という先行投資をいかに大きな実を結ぶものとするかを考えていく必要があります。



可児市の企業誘致（立地）について研修

環境対策特別委員会

ごみの減量・利活用推進 そして地球温暖化防止へ

10月11日・12日の2日間、東京都日野市と千葉県白井市を視察研修しました。

地球温暖化防止対策を視察

日野市では、温暖化防止対策事業として、①生活・業務エコ改善事業②エコ交通推進事業③住宅・建築のエコ化推進事業④新エネルギー導入促進事業を行っています。具体的な行動の呼びかけによる普及啓発や、子供を対象とした事業により、家庭への波及効果を狙うなど、様々な角度から気づきの機会をつくっています。

また、市民の環境問題に対する関心が高く、計画における市民参画や、市民団体による事業運営などパートナーシップ（市民協働）の確立がなされています。

バイオマススタウン構想で 循環型社会をめざす

白井市は平成17年にバイオマススタウン構想を策定し、日常生活からの生ごみ、梨などの剪定枝、工業団地内企業から発生する可燃ごみなど、これまで焼却処分していたバイオマス資源を、堆肥化、炭化及びガス化発電により有効活用する事業を進めています。これらにより、ごみ焼却量の削減、野焼きの抑制・防止、バイオマス技術によるエネルギー製造の効果が期待されます。



ペットボトルのリサイクル現場を視察

このほか、委員会では市内焼却処理施設やリサイクル施設を視察し、市に対しては目標を掲げたごみの減量化推進やリサイクル意識啓発に努めるよう求めました。

バイオマス：…動植物から生まれた再生可能な有機資源のことで、代表的なものに家畜排泄物や生ごみ、木くずなどがあります。

青少年育成対策特別委員会

食育の先進地を視察

去る10月18日から19日までの2日間、福井県小浜市と京都府舞鶴市を視察研修しました。

キッズキッチン

小浜市では、食育は食を通じて人間教育と考え、人は命を受けた瞬間から老いていくまで、生涯を通じて食によって育まれるとのこと、「生涯食育」という考えの中、食育事業を展開しており、味覚形成の段階で、食べ物への好みや完成してしまうまでに、良質な体験学習をさせたことのことで、公費負担のもと、市内すべての就学前の幼児の受講を必須として、キッズキッチンを実施しています。

この取り組みは、就学前の幼児に小学校5年生の家庭科で行うような内容の本格的な調理実習の仕組みを作り、単に料理の方法や手順を教えるだけでなく、食文化、マナー、協力することなど、社会で生きていく上で大事なことを総合的に学べるように指導しています。また、調理をすることで一人できたこ



小浜市のキッズキッチン

との喜びや達成感を味わい、それにより自信をつけた子供は、食べることや遊び、人のかかわりなど、いろいろなことに前向きになっていく様子が見て取れました。

舞鶴市子ども育成支援協会

舞鶴市では、昭和57年に青少年の非行防止と健全育成を図る目的で「舞鶴市青少年育成協会」を設立し、平成15年6月少子化に対応するため新たに組織改編し、「舞鶴市子ども育成支援協会」を設立しました。

この組織は自治連・区長連協議会、老人クラブ連合会など22の団体と市内全小学校区にある20の地域の子育て支援協議会で構成されています。

中心的な事業として、中学生を対象に青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深めることを目的とした「少年の主張大会」や、子育てを市民と一緒に考える「子育てシンポジウム」などを開催し、青少年の健全育成に取り組んでいます。本市でも、食育の推進や地域ぐるみでの青少年健全育成は、人間形成において重要と考えており、両市の取り組みは大変参考となりました。

子どもの声

「白山市になって」をテーマに
松任地域の中学生から、ご意見をいただきました。



白山市の誇りを守るために 北野 梨奈さん（笠間中学校1年）

学校で授業を聞いているときなどに、ふと外を眺めると晴れた日には白山を見ることができます。雄大にそびえ立つ白山を見ると、心まで晴れ晴れしてくる気がします。だから大好きな白山から名を取り、自分たちの市が「白山市」になったときは、自然の豊かさを感じることができる名だと誇らしかったです。

また、反対側を眺めると海を見ることができます。白山

市は、海も山もそろった自然に恵まれた場所だと毎日感じることができます。しかし、先日、犬を散歩させるため海に行ったとき、想像以上に海が汚れていたのを見て、大変ショックを受けました。「これでは、他に誇れない」と。

白山市のシンボルとも言える自然を守り、他に堂々と誇ることができるように努力を続けることが、今までもこれからも、私たち白山市民にとって必要なことだと強く感じました。



白山市の素晴らしさ 末岡 弓奈さん（笠間中学校2年）

私が「白山市」と聞いて、最初に思い浮かべることは恵まれた自然です。海・山・川という自然が私たちの市にある。これは自慢できる白山市の素晴らしさだと思います。

私たちの学校からは西に日本海、東には白山をはじめとする山々が見えます。私はこの景色が大好きです。山々は小学生のころも見ることができ

ました。でも、白山市になってから見る山々の方が親近感を抱くことができるようになりました。「あんなに遠く見える山々も白山市の一部なんだ」と思えるからです。

自然は人間の手でつくり出すことができません。そんな自然が白山市にはあります。この恵まれた自然は、後世に残していくべきものだと思います。白山市は、誇りに思える自然豊かな市。進学等で離れることがあっても、絶対に戻って来ようと思います。



白山市になって 羽柴 杏美さん（笠間中学校3年）

白山市になったばかりのときは、「松任市の方がよかった。別に何も変わらないだろう」と思っていました。だが、白山市は石川県で一番広い市になり、中学校も増えました。

最近白山市だと実感したのは、市の音楽会に出席してでした。松任市のころのことは知りませんが、出場中学校数が増え、華やかさが増したと聞きました。その中学校の中には、わざわざ山の方から時間をかけて来た中学校もありました。このとき、白山市はこん

なにも広がったのかと驚きました。

このように白山市が合併することで、より広い範囲で交流を深めることができます。それに、石川県が発展する可能性にも関係があると思います。交流することによっていろいろな技術や情報を交換できるからです。白山市もいいと思えるようになりました。今まで白山市は地図でしか見たことがありませんでした。でも、白山市に興味を持つようになり、白山市のいろいろな所をもっと見てみたい、行ってみたいと思うようになりました。

編集後記

議会だより編集委員会は、去る10月31日から11月1日にかけて、群馬県渋川市、吉岡町を視察しました。議会広報編集委員の皆さんにも出席いただき、意見交換を行いました。双方の議会ともに委員主体で原稿作成、写真撮影、編集などをしており、大胆な見出し、余白の取り方などの紙面構成を大いに見習い、本号から一般質問の目次を取り入れました。

慣れない編集作業ですが、今後とも、市民の皆様に分かりやすい紙面づくりに励んでいきたいと思っています。

〈編集委員一同〉

委員会では、白山市に関する表紙の写真を募集しています。
詳しくは、当委員会までお問い合わせください。



■編集委員会

委員長：南 清人 副委員長：小川 義昭
委員：河原 秀昭、竹田 伸弘、北川 謙一、
西川 寿夫